

Sakuradai Village 桜台ビレジ自治会だより

Residents' Association News 令和2年1月号

【発行・編集】桜台ビレジ自治会 担当：2B-103 三輪 090-7018-0601

新年あけましておめでとうございます



私たちが住む「桜台ビレジ」建設以前のお話 令和元年度地主代表・森勇さん

昨年11月、地上権委員会の会合にご一緒させていただいたのがきっかけで、この地に80年以上お住まいの森勇さん（前桜台成合自治会長）に、桜台ビレジが建つ前の貴重なお話を伺うことができました。森さん、ありがとうございました。

●昭和5年当時の地名は“祭神戸（さいのかみど）”

森さんの祖先は墓石などから、少なくとも江戸・元禄時代（1680～1709年）の頃から、この地に住んでおられたことがわかっています。森さんが生まれた時の戸籍住所は、「神奈川県都築郡田奈村大字恩田字成合」だったそうです。当時の田奈村は恩田・長津田・奈良の3つの大字に分かれ、昭和5（1930）年8月1日の田奈村の人口は4,122人、戸数は718戸と資料に記載されています。「成合」や「雨堤」は当時の地名が今も使われていますが、現在桜台ビレジが建っているところは「桜台」という地名ではなく、「祭神戸」と呼ばれていたことがわかりました。

●水がきれいでもウナギも獲れた桜台ビレジ辺り

森さんは少年時代、山を越えて学区の田奈小学校に通われたそうです。当時、最寄り駅だった横浜線の長津田駅までの道は舗装されておらず、雨が降るとぬかるみ、冬は道が凍ってしまうので氷が解けてぬかるむお泥道でした。長津田郵便局が最寄りの郵便局でとても不便だったそうです。家も少なく、国道246号までの間の家はたったの18軒、その中で「森」が8軒でした。第二次世界大戦中はB-29による空襲があり、森さんの自宅から見えるところにも日本軍が戦車を入れる防空壕を掘っていたようです。開発される前は水がきれいでも、桜台ビレジ辺りの川でウナギやドジョウを獲って食べていたそうです。

桜台ビレジ建設にあたっては、もともと土地がビレジの隣「森アパートメント」の高さだったので、1B・2B棟のところは斜面の土を岩盤まで削って建物を建てたそうです。今後もこの地域の昔のお話を伺う機会を作っていきたいと思います。

昭和5（1930）年の神奈川県都築郡田奈村の資料より

◎当時の田奈村

人口4,122人
戸数 718戸

◎当時の地名

雨堤

成合

祭
さいのかみど
神戸



矢印の先が現在の桜台交差点付近

【ご案内】1月26日（日）11時～ 桜台ビレジサロン「つきたてのお餅を食べよう！」

場所：モノカム キッチン&ブックス 参加費：大人100円（予定）

開始時間はいつもより一時間遅い、11時からとなります。つきたてのお餅を食べながら、みんなでワイワイ楽しみませんか。次回は3月1日（日）予定です。

